

里山集落の活性化と自然栽培による農産物の高付加価値化

—生物多様性保全機能—

みこはら 神子原地区



平成17年、当時限界集落といわれた山間部に位置する神子原地区の活性化のため、地域住民の出資・運営による農業法人株式会社「神子の里」を創設。

「神子の里」を中心に、営農・販売活動のほか、自然栽培の実践塾、棚田保全活動、交流活動などを実施し、地域の活性化に取り組んでいる。



石川県羽咋市

自然栽培米



自然栽培米がパリ、高級レストラン、ジュエルベルグでデビュー



自然栽培米の実践田

〔生物多様性の保全〕

農薬・化学肥料・除草剤を使わない農法の実践塾「のと里山農業塾」を開催するなど、自然に負荷をかけない農業、気候変動にも強い穀類・野菜づくりを展開。

この農法により赤とんぼをはじめとする多くの生きものがすめる農村環境を作り出している。

〔地域社会の振興〕

自然栽培は、土を本来の姿に変化させ、生きもの豊かな環境を里山につくり出し、下流域への水質も大幅に改善されている。

自然栽培米を始め、農薬・化学肥料・除草剤を使わない安全かつ高品質の食材を生産することにより、農家所得の向上や国際的戦略作物づくりにもつなげている。

また、都市部の大学生との交流事業や移住推進制度などにより、地域の賑わいを創出している。



自然栽培を学ぶ農家



自然栽培にチャレンジ
3年目の野菜



夏と冬に合宿し農業・農家体験をする大学生



稲刈りの体験をする大学生